

# 凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

- 便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

## お願い

- 外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- 周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。

## ■ 設定のしかた

- 凍結防止の前に

リモコンで、「オート便器洗浄」「オートふた開閉」を「切」にしてください。



## ■ 凍結防止中のウォシュレットの動作

- 「運転」ランプが点滅する
- 約10分間隔で便器洗浄(約4.8 L)する
- 約50 mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)

### オート便器洗浄

自動で便器洗浄する/しない

#### オート便器洗浄

- メニュー/戻る (MENU/RETURN) を押す
- 「オート機能」を選ぶ
- 「オート便器洗浄」を選ぶ
- 「オート設定」を選ぶ
- 「入/切」を選ぶ

自動で便ふたを閉めたあと便器洗浄する/しない

#### 便ふた閉止後洗浄モード

- メニュー/戻る (MENU/RETURN) を押す
- 「オート機能」を選ぶ
- 「オート便器洗浄」を選ぶ
- 「便ふた閉止後洗浄モード」を選ぶ
- 「入/切」を選ぶ

### オートふた開閉

自動で便器洗浄するまでの時間を定める

水が流れるまでの時間 ※1・2

#### オートふた開閉

- メニュー/戻る (MENU/RETURN) を押す
- 「オート機能」を選ぶ
- 「オート便器洗浄」を選ぶ
- 「水が流れるまで」を選ぶ
- 「短い/標準/長い」を選ぶ

自動で便ふたを開閉する/しない

#### オートふた開閉

- メニュー/戻る (MENU/RETURN) を押す
- 「オート機能」を選ぶ
- 「オートふた開閉」を選ぶ
- 「オート設定」を選ぶ
- 「入/切」を選ぶ

※1 「オート便器洗浄」を「切」に設定しているときは、この操作はできません。

## ■ ご使用のタイプを選択してください



凍結予防方式	便器品番
流動方式	品番に「H」なし
ヒーター付便器・水抜併用方式	品番に「H」あり

流動方式


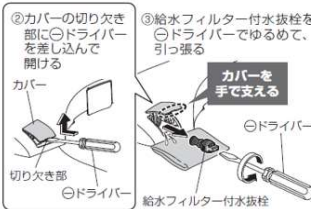

ヒーター付便器・水抜併用方式

## 流動方式（ヒーター付便器・水抜併用方式以外）

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

便器の水たまり面を下げる (水の乾ね回り低減や後便のときなど) <b>水面下げる</b>	便器とウォシュレットの水を 一定の間隔で自動で流す <b>凍結防止</b>	電子音を 鳴らす/鳴らさない <b>電子音</b>
<p>1 <input type="checkbox"/> メニュー/戻る 押す</p> <p>2 <input type="up"/> で「その他設定」 <input type="down"/> を選ぶ</p> <p>3 <input type="up"/> で「水面下げる」 <input type="down"/> を選ぶ</p> <p>押す</p> <p>便器内の水が流れて 低い水位でたまる 〈設定完了〉 (戻るとき→ <input type="checkbox"/> MENU/戻る)</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>便器洗浄すると、通常の水面の高さに戻ります。水面を下げて使いたい場合に、都度設定してください。</li> </ul>	<p>メニュー 1/8 1. 水たまりを下げる 2. 凍結防止 3. 電子音</p> <p>メニュー 8/8 1. 水たまりを下げる 2. 凍結防止 3. 電子音</p> <p>押す</p> <p>メニュー 1/8 1. 水たまりを下げる 2. 凍結防止 3. 電子音</p> <p>3 <input type="up"/> で「凍結防止」 <input type="down"/> を選ぶ</p> <p>4 <input type="left"/> で「入/切」 <input type="right"/> を選ぶ</p> <p>&lt;「入」に設定する場合&gt; 設定すると約10分間隔で便器洗浄して凍結を防止します。</p> <p>押す</p> <p>数分間隔で 便器洗浄 設定する? <input type="left"/> はい <input type="right"/> いいえ</p> <p>押す</p> <p>凍結防止を 入に設定しました (戻るとき→ <input type="checkbox"/> MENU/戻る)</p>	<p>メニュー 1/8 1. 水たまりを下げる 2. 凍結防止 3. 電子音</p> <p>メニュー 8/8 1. 水たまりを下げる 2. 凍結防止 3. 電子音</p> <p>押す</p> <p>メニュー 1/8 1. 水たまりを下げる 2. 凍結防止 3. 電子音</p> <p>3 <input type="up"/> で「電子音」 <input type="down"/> を選ぶ</p> <p>4 <input type="left"/> で「入/切」 <input type="right"/> を選ぶ</p> <p>押す</p> <p>電子音を 切に設定しました (戻るとき→ <input type="checkbox"/> MENU/戻る)</p>

# ヒーター付便器・水抜併用方式

- 1 水抜栓を操作して、給水を止める  
**お願い**  
 ・止水栓は開けたままにしておいてください。  
 (製品内部の水が掛けずに凍結破損するおそれ)  

- 2 **押し**  
 (給水管の圧抜き)
- 3 電源プラグを抜く
- 4 配管の水を抜く  
 ①便座・便ふたを開ける  

  - ②カバーの切り欠き部にドライバーを差し込んで開ける
  - ③給水フィルター付水抜栓をドライバーでゆるめて、引っ張る
- 5 給水フィルター付水抜栓を取り付け、カバーを閉める  
 ①給水フィルター付水抜栓を押し込み、  
 ②ドライバーで確実に締める  

- 6 電源プラグを差し込む  
 ・「運転」ランプが点灯する
- 7 **押し** を押してタンクの水を抜く\*1
- 8 便座温度を「高」にする  
 ・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく  
 ■再度ウォシュレットをお使いになるときは  
 ・再通水が必要です。  
**お知らせ**  
 ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。  
 ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

\*1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが開まったあとと便器洗浄します。

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。  
 (タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)(凍結して製品破損などをおこす原因)

**ご注意** ・「お掃除リフト」で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

## 水抜きのしかた

- 1 ■流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)のとき  
 止水栓カバーを取りはずし、  
 止水栓または元栓を閉める  
 ■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき  
 水抜栓を操作して、給水を止める  
**お願い**  
 ・止水栓は開けたままにしておいてください。
- 2 止水栓カバーを取り付ける
- 3 **押し** を押してタンクの水を抜く\*1
- 4 **押し**  
 (給水管の圧抜き)
- 5 電源プラグを抜く
- 6 配管の水を抜く  
 ■凍結のおそれがあるときは  
 ・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。  
 (不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)  
 ■再度ウォシュレットをお使いになるときは  
 ・再通水が必要です。

## 再通水のしかた

- 1 止水栓カバーを取りはずし、止水栓または元栓を開ける  
 または、水抜栓を操作して、給水する  
 ・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する
- 2 止水栓カバーを取り付ける
- 3 電源プラグをコンセントに差し込む  
 ・「運転」ランプが点灯する
- 4 ①ノズルから水を出す  
 (1)手または腕で箱座センサー部に触れたまま、  
 (2)リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す  
 ・水は紙コップなどで受けてください。  
 (3)手または腕を箱座センサー部からははずす  
 ② **押し**\*1  
 ・タンクに水がたまっていないときは、便器洗浄できません。その間はすべての操作をしないでください。  
 (タンク給水中は、本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯に変わります。)  
 給水完了まで80秒程度かかります。(給水圧などの使用条件によって左右されます。)  
 ■残水が凍結して水が出ないとき  
 ・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める
- 5 便器に水がたまってから、もう一度 **押し**\*1



\*1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが開まったあとと便器洗浄します。